



京都：夏の風物詩



みたらし祭り

左京区不動産 | テライズホーム

京都市左京区 | 下鴨神社 | みたらし祭り

みたらし祭は足つけ神事とも言われ、下鴨神社境内の御手洗池に足をひたしたまま口ウソクを供え、無病息災を祈ります。みたらし祭は毎年土用の丑の日に行われ、古来夏に流行することが多い「はやりやまい」を避けるため、厄払いしたことがお祭りの起源です。

京都市左京区 | みたらし祭













納
加茂みたらし茶屋

第二十四回
重要文化財
預

加茂
茶屋





御手洗みたらし — 直澄ただす

古代からたまた糺の森は、清水の湧く所、鴨川の水源の神地として信仰されてきました。室町時代の「諸社根元記」に「浮島の里、直澄」と記されており、「糺の語源の一説」として知られています。現在、なお糺の森地中深くより豊かに湧出し、歴史を伝えています。生命の源である御神水により袂たもとをされ、御生みあれの御蔭みかげをこおむるとともに心身の清浄にお臨みください。

やまとかも うみに嵐の西吹けば

いづれの浦に 御船みふねつなぐ

新古今和歌集

御手洗は、御祭神の神話伝承にちなむ舟形磐座石です。

御神水をそぐ樋は、糺の森の又シと呼ばれていた樹齢六〇〇年のケヤキです。

覆屋おおいやは、崇神天皇七年（BC九〇年ごろ）

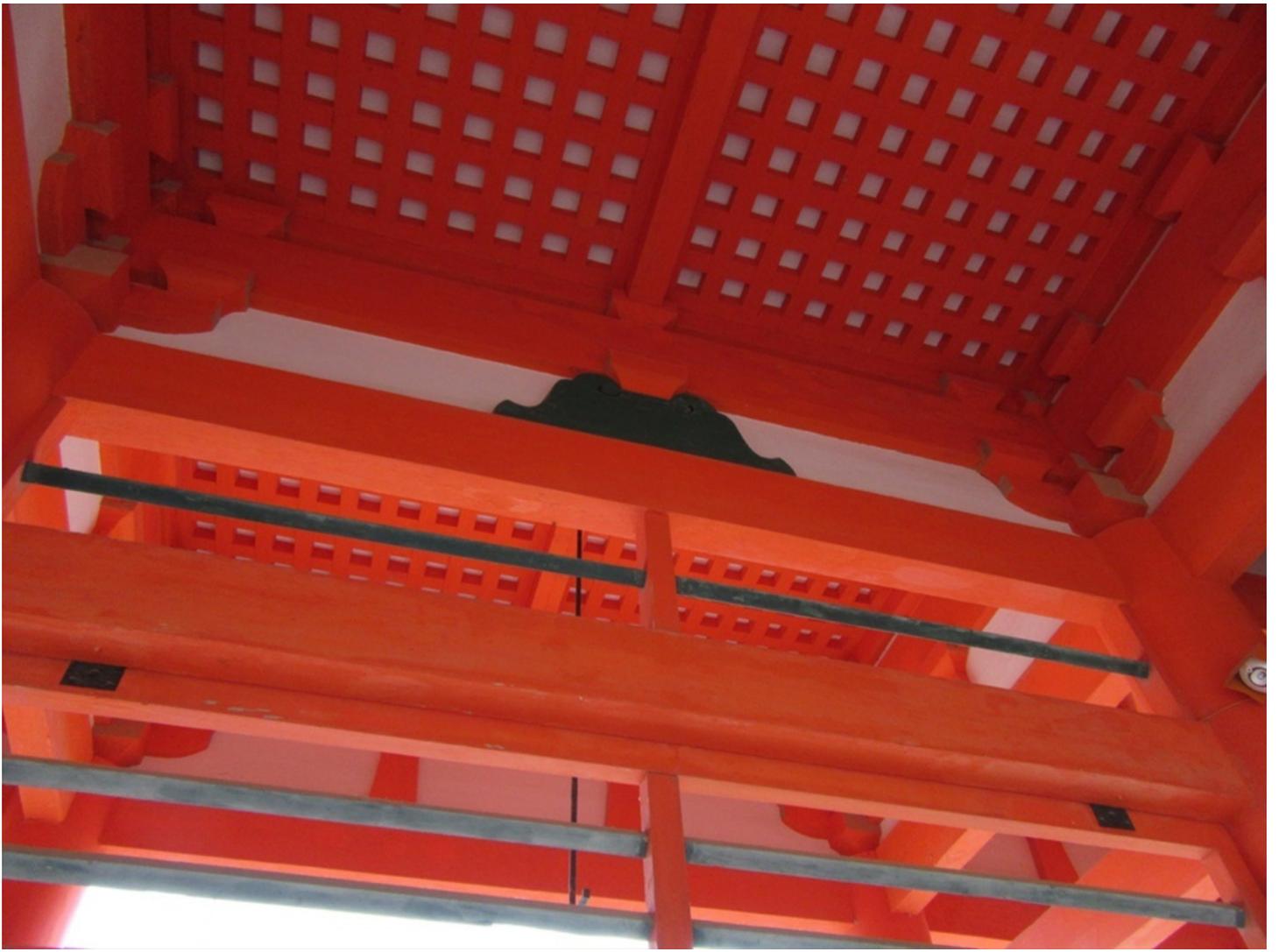
当神社糺の森神地に瑞籬みづせきの造替を賜った記録をもとに再現した透塼とうたんです。





京都市左京区 | みたらし祭









重要文化財

神服殿

夏、冬の御神服

を奉製する御殿であったため、その名がある。古代祭祀の神殿様式を伝える貴重な社殿である。

近世は、勅使殿又は着到殿となり古来殿内の一室が行幸のときは、玉座となった。

「開かずの間」として伝えられている。古くから御所が災害にあわれた時、臨時の御座所と定められている。

式年遷宮寛永五年(一六二八)造替後は、二十一年目に解体修理が行われる。

入母屋造、檜皮葺

桁行五間、梁間四間

若志子
綾桂

熨
佐久間
美幸
祖

熨
ウリ
ア











京都市左京区 | みたらし祭













鴨の神石についで
古来、下鴨神社の御手洗川で採取される黒石は、厄除の神石として、特に子供のかんむじふうじに効験あらたかな霊石として信仰され、毎年、叙り替え取り替え新たにいただくの風習とされている。

御手洗祭(足つけ神事)の由来

御手洗池の井上社に祀られている瀬織津比売命は罪、穢を祓い除き給う神様です。そこで、昔から土用の丑の日に、この神池に足をつけ、燈明をお供えし御神水を戴くと諸病にかからず、延命長寿の靈験あらたかといえられています。

また、神池から採れた黒い小石は「かん虫ふうじの神石」として、昔から信仰されており「みたらしお祓い守り」(無病息災・延命長寿)「御手洗除病のお札」

この日に限り授与されます。







自然素材 | 施工事例 | テライズホーム

<http://p.booklog.jp/book/110045>

公式ホームページ：左京区不動産 | テライズホーム | そうだ、京都にお家を持とう

<http://terise-home.kyoto/>

著者：Terise-Home

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/terisehome/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/110045>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/110045>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ